

学校支援を積極的に進めよう

～ 各部を中心としたPTA活動を通して ～

蒲郡市立三谷東小学校PTA

1 学区及び学校の概要

本校は、蒲郡市の東部に位置し、昭和48年にマンモス校化した三谷小学校と分かれて開校した。学校の南東側には三谷温泉や弘法山金剛寺の東洋一の高さを誇る子安弘法大師像があり、北西側に住宅地が広がっている。現在296名の児童が在籍しており、最近は外国籍の児童も増え、本年度は20名の外国籍児童が在籍している。校庭に南山の一部が含まれているなど、自然に囲まれており、子どもたちは恵まれた環境の中で、のびのびと学校生活を送っている。

2 研究のねらい

本校の教育目標である「一に体力 二に気力 三に学力 ぐんぐんのびよ」の実現に向けて、保護者が主体的に学校を支援し、学校と協働することが、心身ともに健やかな子どもたちの成長の一助になると考える。そこで、PTA各部委員会が中心となって活動を行い、学校支援を積極的に進めていこうと考えた。

3 研究の仮説

子どもや保護者、地域とのふれあいを深めたり、校内の教育環境を整えたりするPTA活動を推進することで、心身ともに健やかな子どもたちを育むことができるだろう。

4 研究の方法

本校のPTAは、事業部、教養部、生活部、広報部、保健部、美化部の6委員会がある。それぞれの委員会が地域や学校と協働して、さまざまなPTA活動を企画・実施し、学校支援を積極的に進めていく。

5 研究の実践

(1) 学校保健委員会

本年度は、日本コミュニケーション心理学協会教育コンサルタントの方を講師にお招きし、「みんな違って、みんないい ～温かい心と言葉あふれる三谷東小学校～」と題して、5, 6年生と希望保護者対象に学校保健委員会を実施した。「言葉だけでなく、見た目や態度もコミュニケーションのひとつであること」「イメージをもち意識することにより、心も身体も変化すること」などについて教えていただいた。話を聞くだけでなく、実際に声を出したり、身体を動かしたりしながらの講演で、他人とのコミュニケーションの取り方や自分自身のことを知るよい機会になった。



【学校保健委員会の様子】

(2) 資源回収

年に2回資源回収を行っている。昨年度までは地域に置かれた資源物品を保護者の方が回収したり、子どもたちも学校で搬入を手伝ったりして、親子での活動であった。しかし、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ある一定期間コンテナを運動場に据え置きし、保護者や地域の方に資源物品を搬入してもらう方法で実施した。PTA役員の方々は開催案内を校区内に掲示し、地域の方々に呼びかけを行った。本年度の収益金は減少したが、子どもたちの教育活動のために活用されている。

(3) 美化活動

美化活動は、東山や南山の環境整備を行った。事前に地域ボランティアの方に木や枝の剪定などをしていただき、当日は保護者の方々と子どもたちが一緒になって剪定された枝や葉っぱをかき集めた。業者のコンテナがいっぱいになるほど集め、マラソンコースも整備することができた。

(4) 教養講座

昨年度の教養講座では、夏の教養講座として8月に「ペットボトルで水遊びしてみよう！」を企画した。児童クラブの子どもたちも加わり、100人近い人数で、自分の作ったペットボトルの水鉄砲を使い、びしょぬれになって遊んだ。夏休みの楽しい思い出のひとつになった。



【昨年の夏の教養講座の様子】

12月に行った、製麺店での「うどん作り親子講座」でも、多数の応募があった。製麺店での講座ということもあり、人数制限があったため抽選になったのが残念であったが、参加された方々は自分の打ったうどんをお腹いっぱい食べ、お土産もいただき、楽しい時間を過ごすことができた。

(5) あいさつ運動

三谷地区の方々や交通少年団の子どもたちと協力して、年5回「あいさつ運動」を実施している。朝登校時に、校区内の決められた交差点ごとに立ち、あいさつをしながら子どもたちの登校の様子を見守っている。子どもたちからは元気なあいさつの声が返ってきている。

6 研究の考察

各部が中心となり、毎年少しずつ改善しながらPTA活動を行っている。子どもと一緒に活動する美化活動や資源回収を実施することによって、子どもたちの様子を知ることができ、また、教育環境を整えることで、子どもたちが気持ちよく教育活動に取り組むことができている。

7 成果と今後の課題

PTA活動を通して、保護者が学校や子どもたちと関わることによって、学校や子どもたちの現状を理解することができ、教育活動に参加し、学校支援をしているという意識を高めることができた。しかし一方で、開校当時より児童数が半数以上減少しているにも関わらず、PTA役員の人数はほとんど変わらないでPTA活動を実施している。そこで、PTA役員の人数を削減し、活動内容を精選しながら、学校支援に取り組む新たなPTA活動の模索が今後の課題である。